

学校の教育目標

かしこく じょうぶで 仲よしの子
◇確かな学力 ◇健康でじょうぶな体 ◇豊かでたくましい心

令和7年度めざす学校の姿

笑顔にあふれた“楽しい”学校

～挑戦できる私・感謝できる私・あいさつできる私～

「学校だからこそ得られる“楽しさ”」

- | | | | |
|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさ ・挑戦する楽しさ ・発見する楽しさ ・仲間と過ごす楽しさ ・行事の楽しさ | <ul style="list-style-type: none"> 新しいことを身につけた時 めあてを決め、挑戦（チャレンジ）できた時 新しい自分を発見した時 同じめあてに向かい励まし合う時 学年や全校で一体感を味わう時 | <ul style="list-style-type: none"> ・個性を認め合う楽しさ ・先生と過ごす楽しさ ・地域の方と過ごす楽しさ ・失敗から学ぶ楽しさ | <ul style="list-style-type: none"> 違う個々を認め自分の視野を広げる時 信頼できる先生と過ごす時 自慢できる地元で過ごす時 困難や挫折を乗り越えた時 |
|---|--|---|---|

「挑戦」できる私

- すべての教科等における知識・技能の定着を目指した「わかる・できる」授業
 - ・授業における知識・技能の時間の確実な確保
- 児童自ら課題を見出しその解決を図ることができる活動
 - ・課題解決を目指し児童同士で高め合う活動の推進

「感謝」できる私

- 「ありがとう」を生み出す授業
 - ・地域に支えられている意識の向上と地域を知り「地域にはたらきかける」児童の育成（総合的な学習の時間（地域学習）の充実）
- 「ありがとう」を生み出す活動
 - ・感謝と思いやりの心を育む活動及び異学年交流のより一層の充実
 - ・仲間を大切にす言葉かけ、言葉遣い、名前呼びの一層の推進

「あいさつ」できる私

- じえいあいさつを成長させる活動
 - ・児童が「じえいあいさつ」を本当に必要だと感じる場面の設定
 - ・PTA、地域と、さらに連携したあいさつ活動の推進
- ※じえいあいさつ
「自分から 笑顔で
いつでもどこでもだれにでも」

【指標】

- ・（児童）学校が楽しいですか：肯定的意見86%以上
- ・（保護者）お子さんは楽しく学校に行っていますか：肯定的意見93%以上
- ・（職員）R6年度同一質問項目平均3.2pt/4pt以上
- 各指標共にR6年度水準を上回る目標数値設定

共通行動（3部会）

- ・委員長会を活用した東小学校をよりよくする“えがおプロジェクト”の実施（児童が考え、実践、評価する児童会活動）
- ・仲間の意見を大切にできる聞く指導の徹底

基礎学力定着プロジェクト（伸びを実感させる年度当初・途中・出口の変化）

- ・授業終末からの授業改善（練習時間の確保・教えるべきこと、気付けさせることの明確化）
- ・東小タイムの充実（「ひがしー検定」：漢字・四則計算（ます計算等））
- ・学校の授業（宿題）・朝活動と連携した自主的に取り組むことを含む家庭学習のより一層の充実

「研究主題：「分かった」「できた」で笑顔になる児童の育成

- 学ぶ意欲が持続する課題設定を大切に授業
- 自分の考えを広げ、深めたことが実感できる交流活動
- わかった・できたを見届ける授業・単元終末の在り方

三サポート会議

- 指導教諭を中心とした「個の課題とその対応についての協議（通常・特支）」
- 生徒指導を中心とした「いじめ・不登校への対応（チームによる早期発見・早期対応）」
- 教育相談を中心とした「相談支援室の適切な活用(多くの人との関わり)」

特別支援教育を基盤とした学校づくり 個の違いを認め合う集団 合理的配慮に基づく支援 成功と承認による指導
(特別支援学級に在籍する児童の情報交流と日常的な参観の実施)

家庭・地域から信頼される学校

- ・PTA活動の周知と保護者との連携
- ・学校運営協議会との協働（ふるさとの自然と文化にふれあい、地域にはたらきかける子 低：ふれる・知る 中：考える 高：はたらきかける）

重点1

- ・一人の児童に対してさまざまな職員・人が関わることから生まれる多面的な指導・支援
(段階的なチーム担任制の実施とフロア指導の継続)
(職員室内の交流の場の設定)

重点2

- ・働き方改革のより一層の推進
※働きがいのある職場づくり
(ゴール設定(時間、内容)を明確にした働き方)

さらなる「同僚性の向上」